

# 英語で生きる 英語と生きる Living with the English Language

日時 2016年7月8日(金)第2限 (11:10~12:40)

会場 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス (1号館2階12A教室)

交通 名古屋市営地下鉄東山線「星ヶ丘」下車 徒歩3分

主催 愛知淑徳大学 交流文化学部

アリゾナ州立大学教授

**Paul Kei Matsuda 氏**

高校卒業後に渡米しアメリカの大学で英語を教えるプロフェッショナルになるまでの、道のりと英語の勉強方法についてお聞かせいただく予定です。皆さん奮って御参加下さい。



玉川学園高等部卒業後渡米。ウィスコンシン大学でコミュニケーション学専攻、心理学副専攻。大学のライティングセンターなどで第1、第2言語での英語のライティング指導に携わったのをきっかけに、ライティング研究・指導の世界に魅了される。マイアミ大学(オハイオ州立)で英語学修士課程修了。パデュー大学で英語学博士課程修了。専攻はレトリック&コンポジション、応用言語学、英語教育学。

現在アリゾナ州立大学教授。修士・博士課程の学生を対象に「第2言語ライティングの理論と研究」「ライティング理論」「ライティングの質的研究法」「ライティング研究・教育の歴史」「英語教授法」「ライティングと言語学」などの講座を幅広く担当。

さらにネイティブスピーカー・ノンネイティブスピーカー両方を対象に、アカデミック・ライティング、テクニカル・ライティング、説得文、クリエイティブ・ノンフィク

ションなど、様々なライティング講座を教えた経験を持つ。

ライティングプログラムに関する幅広い知識とライティングプログラムディレクターとしての経験を活かし、全米の大学でコンサルタントとしてプログラムの開発と評価、ライティング教師の再教育などにも尽力。そのほか、全米をはじめ、日本やアジア諸国、南米などの大学や学会でライティングに関する講演やワークショップなどを行う。

主な編著書に Second Language Writing in the Composition Classroom、Second Language Writing Research、Landmark Essays on ESL Writing、On Second Language Writing、などがあるほか、数々の学術誌の特別号を編集。そのほか、ライティング、談話分析、語用論、言語とアイデンティティ、言語とテクノロジー、英語教育史などに関する論文多数。